

# 能勢高校ニュースレター

第44号 H.22. 12月発行

年の瀬が迫ってきました。皆さまお忙しくお過ごしのことと思います。寒さに負けず、ニュースレター12月号をお届けします。

## 「能勢高校を応援する会“町ぐるみ応援団”」 結成記念総会開催！

12月12日(日)、「能勢高校を応援する会“町ぐるみ応援団”」結成記念総会が能勢浄るりシアターにて盛大に開催されました。

この「能勢高校を応援する会“町ぐるみ応援団”」は、本校同窓会やPTAを中心に結成され、今後、進行する能勢町での急速な少子化を見据え、能勢高校を町ぐるみで応援することを目的としております。今回の総会は、この“町ぐるみ応援団”を広く周知するとともに具体的な活動をスタートさせるためのものです。

まず、開会に先立ち、今年度の沖縄インターハイ出場を果たした空手道部員による演武、能勢町文化フェスティバルなど地域のイベントに多数出場している実力派、ダンス部員によるダンスパフォーマンスにより、来場者を魅了、圧倒しました。

総会は、西田彦次会長(本校同窓会長)の挨拶からはじまりました。さらに中 和博能勢町長、中島健二大阪府議会議員、上島一彦大阪府議会議員、原田健志能勢町議会議員からご祝辞をいただきました。

続いて、本校内山勝則首席が明解なプレゼンテーションを行い、来場者に「能勢高校の教育成果と現状」について大変わかりやく伝えました。そして、本校生徒会役員4名が、総合的な学習の時間等を通じ大学の先生や紙芝居師の先輩からの指導のもとで取り組んできた「能勢観光モデルプラン作り」について楽しく発表しました。

休憩後の講演会では、大阪府知事特別顧問・東京学芸大学客員教授の藤原和博さんに「魅力ある！！町づくり・・・人づくり・・・」をテーマとし「学校教育への地域支援の重要性や町づくりの在り方」について熱くご講演いただきました。さらに講演後の来場者とのトークも大変盛り上がりしました。

最後に、本校学校協議会会長の加堂裕規 関西外国語大学教授から、5つの大会決議が宣言され、総会の幕を閉じました。総会を終え、学校長としての責任の重さをあらためて実感しています。

この総会で出された提案・意見等を参考に、本校が「子どもたちや地域の期待にさらに大きく応える学校」になるよう、しっかりと取り組んでまいりたいと思います。

### 《大会宣言》

- 「能勢高校の教育成果を広く伝えよう。」
- 「能勢高校の行事に参加しよう。」
- 「能勢高教育を能勢の教育力向上に活用しよう。」
- 「能勢高教育を能勢のまちづくりに活用しよう。」
- 「能勢高校を町ぐるみで応援しよう。」



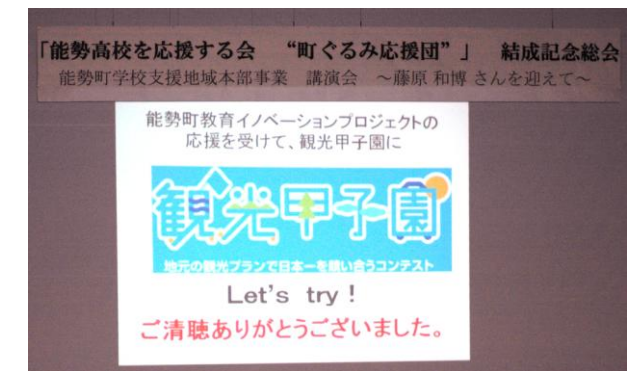
生徒作品のロビー展示



空手道部 演武



ダンス部 パフォーマンス



生徒会役員によるプレゼンテーション



西田会長の開会挨拶



加堂教授による大会宣言の決議

初めてとなる、中学2年生対象の能勢高校中高一貫体験入学会を実施しました

12月10日（金）少し肌寒い日でしたが、東中36名、西中95名、合計131名の2年生を能勢高校に迎えて、体験入学会を行いました。2年生対象の体験入学会は今回が初めての実施です。

午後1時過ぎに、東中生は自転車で、西中生はバスで本校に到着しました。体育館に集合し、本校生徒会長の2年生加藤史帆さんから歓迎の挨拶を受けました。続いて内山首席から、本校教育の4つの柱について以下のように説明がありました。

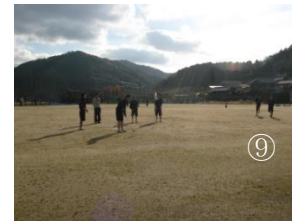
4つの系列をもち多様な選択が可能である。  
 少人数なので理解がしやすい。  
 習熟度別なので自分に適した授業を受けることができる。  
 放課後講習でさらなる学習を徹底的にサポートする。



本校生徒会役員が歓迎

皆さん真剣に聞いてくれていました。最後に本校の真鍋校長から「能勢高校で何かをつかんでほしい」「今日能勢高校で学んだことを、中学校で活かしてほしい」と挨拶があり、それぞれの授業体験の場所へ移動しました。今回の体験講座は以下の通りです。

系列	科目	講座	写真
国際・情報	グローバルイングリッシュ	名画で学ぶ英語	①
	マルチメディア表現	ソフトを使って音楽表現	②
	簿記	簿記入門	③
環境科学	環境科学	二酸化窒素の発生と検出	④
	里山の科学	野外観察体験	⑤
食・花・交流	ベジタブルガーデン	野菜の収穫体験	⑥
	フルーツガーデン	桜餅づくり	⑦
	花作り	寄せ植え体験	⑧
人間・福祉	ライフスポーツ	楽しくみんなでラウンドしよう	⑨
	フードデザイン	清涼飲料水の糖度を計ろう	⑩



落花生に自分で火を通した。したことなかったのが楽しかった。先生の教え方が良かったのでよくわかりました。今日はありがとうございました。能勢高に入った時はよろしく願います。」とか、「おもしろくできて良かった。能勢高校に入りたから、またこういう授業ができたらいいなと思いました。」とあって、とてもうれしくなりました。能勢高校の講座担当者からも「能勢高校はいい学校だ」とわかってもらうために、張り切って授業をしたので、思いが通じてよかったというコメントをもらっています。

授業に続いてクラブ体験・見学をしました。前回できなかったビームライフル部の体験を今回は実現できました。ビームライフルは体験することがほとんどない競技です。

本校のビームライフル部は強豪で、2年生の井之上祐三君が夏に全国大会への出場を果たしています。また空手個人形で3年の小北剛志君が沖縄インターハイ出場という、やはり強豪の空手道部、夏の高校野球予選で公立の雄である箕面東高校に善戦した硬式野球部等には多くの中学生が集まり、熱心に体験や見学をしていました。他のクラブも「アピールするぞ!」の意気込み旺盛で熱気に溢れていたと思います。

授業に続いてクラブ体験・見学をしました。前回できなかったビームライフル部の体験を今回は実現できました。ビームライフルは体験することがほとんどない競技です。本校のビームライフル部は強豪で、2年生の井之上祐三君が夏に全国大会への出場を果たしています。また空手個人形で3年の小北剛志君が沖縄インターハイ出場という、やはり強豪の空手道部、夏の高校野球予選で公立の雄である箕面東高校に善戦した硬式野球部等には多くの中学生が集まり、熱心に体験や見学をしていました。他のクラブも「アピールするぞ!」の意気込み旺盛で熱気に溢れていたと思います。



現在中学2年生のみなさんは、来年夏に3年生として再び本校を訪れ、授業やクラブを体験して頂くことになります。そのときに再び能勢高校のもつ多彩な魅力に触れてほしいと思います。付き添ってくださった中学校の先生方にはご協力いただき感謝します。来年もよろしく願います。

本校のビームライフル部は強豪で、2年生の井之上祐三君が夏に全国大会への出場を果たしています。また空手個人形で3年の小北剛志君が沖縄インターハイ出場という、やはり強豪の空手道部、夏の高校野球予選で公立の雄である箕面東高校に善戦した硬式野球部等には多くの中学生が集まり、熱心に体験や見学をしていました。他のクラブも「アピールするぞ!」の意気込み旺盛で熱気に溢れていたと思います。

能勢町保健福祉センター（ささゆりセンター）を見学し、保健福祉や年金に関する講義を受けました。

11月30日（火）、科目「社会福祉基礎」を選択している生徒たちが、能勢町保健福祉センター（ささゆりセンター）を訪問しました。

まず、当センター包括支援係の橋本澄代さんから、「能勢町における健康増進事業及び介護保険事業の取組」についての講義を受けました。当センターが担当する業務（健康増進、予防接種、母子保健、地域支援などの事業、介護保険事務）について、丁寧に教えていただきました。

続いて、豊中年金事務所の方により、年金の基礎知識について講義を受けました。年金ってなんだろう？ どうして年金が必要なのか。公的年金がなかった場合、私たちがいかに困るかなど、大変わかりやすく説明していただきました。

最後に当施設の見学を行いました。当施設は、廊下が広い、段差がない、エレベーター・手すり・点字版の設置、障がい者用トイレ、電動昇降調理台など、障害のある方や老人、小さな子どもへの配慮がなされ、ユニバーサルデザインを広く取り入れられていることがよくわかりました。



今回の取組みを通じ、生徒たちが能勢町の老人福祉の課題がわかるなど、本校の福祉教育の充実につながるものであったと感じました。今後も地域との交流や連携を積極的に行ってまいりますので、本校教育活動へのご理解と支援をいただきますことを願います。

どの講座も真剣ながらも楽しそうな雰囲気でした。中学生のみなさんの感想はいかがだったでしょうか。講座『野菜の収穫体験』で中学生のみなさんに感想を書いてもらい、そのなかに「初めて

